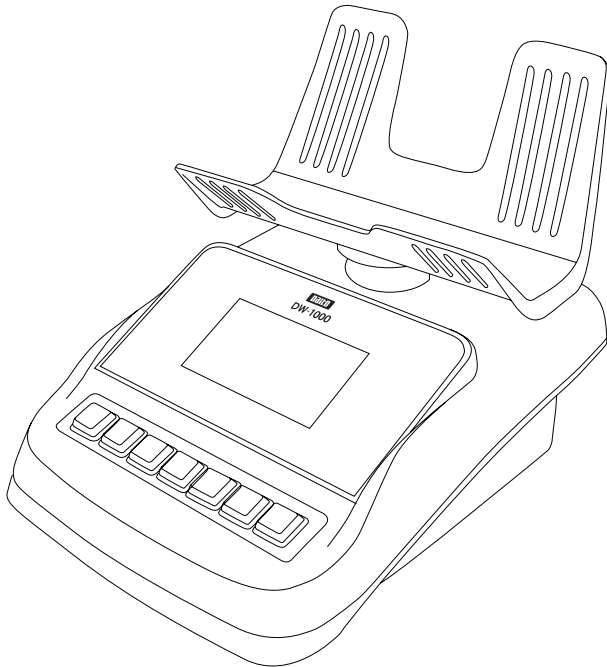


daito

ノートコインカウンター DW-1000

取扱説明書



■ごあいさつ

本書は、ノートコインカウンター DW-1000を快適にご使用いただくためのガイドブックです。

ご使用前に必ず本書をお読みください。読み終わった後も大切に保管し、

必要なときに読み直しできるようにしてください。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

本書の内容についてご不明な点などがございましたらご連絡ください。

■目次

1.はじめに	2
1-1.本製品の特徴	
1-2.カウント対象とカウントイメージ	
1-3.カウントの限界値	
2.安全上のご注意	3
■長くご使用いただくために	5
3.内容物及び本体の名称	6
4.セットアップ	7
4-1.ホッドを取り付ける	7
4-2.充電	8
5.カウント前の準備	8
6.操作方法	9
6-1.電源の入切と初期画面	9
6-2.オートスクロール機能	10
6-3.小計の修正	11
6-4.総合計金額のクリア	11
6-5.集計画面の表示	11
7.カウント方法	12
7-1.バラ硬貨のカウント方法	12
7-2.バラ紙幣のカウント方法	13
7-3.棒金のカウント方法	15
7-4.商品券やハガキ、その他券類等の登録・カウント方法	17
8.印刷	21
8-1.プリンターのセットアップ	
8-2.印刷方法	
9.トラブルシューティング	22
■「故障かな？」と思う前に…	23
10.メンテナンス	24
10-1.スクープの重さ登録方法	
10-2.日付・時刻の設定方法	
11.製品保証書	26
12.仕様	27

1.はじめに

1-1.本製品の特徴

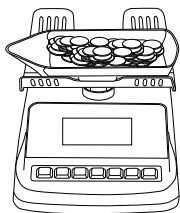
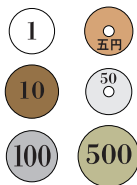
- ・ 現金や商品券等を、重さでカウントするカウンターです。
- ・ カウントする度自動で金種が切り替わり、種類の多い現金をカウントするのに便利です。(オートスクロール機能)
- ・ 自動で総合計金額の計算をします。(自動加算機能)
- ・ 省スペースで音も静かなカウンターです。
- ・ 3時間充電で最大10時間使用可能なバッテリー内蔵なので、置き場所を選びません。
- ・ 一定時間操作をしないと、自動で電源が切れる省エネ設計です。(自動電源OFF機能)

1-2.カウント対象とカウントイメージ

1.日本の硬貨6種バラ

(1円、5円、10円、50円、100円、500円)

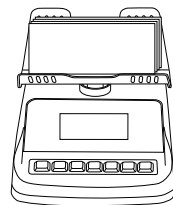
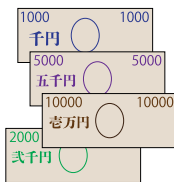
※記念硬貨を除く



カウント方法は
p.12

2.日本銀行券4種バラ

(千円、5千円、1万円、2千円)

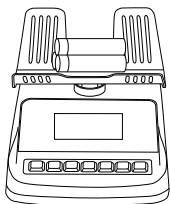
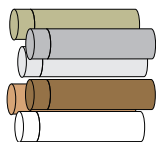


カウント方法は
p.13

3.日本の硬貨6種の棒金

(一種50枚セットで、紙またはフィルム包装のもの)

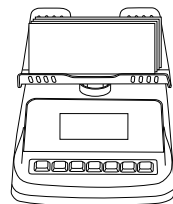
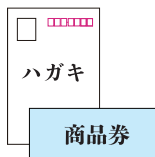
※500円硬貨のみ20枚セットもカウント可



カウント方法は
p.15

4.商品券やハガキ、その他券類等

(1枚の重さが約1~4gで、ホッドにのる大きさのもの)



登録・カウント方法は
p.17

1-3.カウントの限界値



最大積載量：硬貨…1.5kg 紙幣…400枚 券類…400g

金額：999万9999円まで (硬貨・紙幣に関わらず)

2.安全上のご注意

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
またお読みになったあと、本書はいつでも記載内容を確認できるような場所に保管してください。
本書を紛失等で確認できなくなった場合は、弊社サービスセンターへお問い合わせください。
ここに示した注意事項は、お買い上げの製品を安全にお使いいただき、製品による人の身体や財産への損害を未然に防ぐために、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

ここでは取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベル(警告・注意)に分類しています。

 警告	この表示は、記載内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定されるときに使用します。
 注意	この表示は、記載内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定されるときに使用します。 または、物的な損傷が発生する可能性が想定されるときに使用します。

《その他の絵表示、ピクトグラフ表示例》



△記号は、警告(注意も含む)を促す内容があることを示しています。
右の例は、一般的な警告、注意事項を示しています。



○記号は、禁止行為を示しています。
○の中には、禁止されている内容が表示されます。
右の例は、分解禁止を示しています。
















●記号は、作業時などに行為を強制または指示する内容があることを示しています。
●の中には具体的な強制事項の内容が表示されます。
右の例は、コンセントからプラグを抜く行為の強制を示しています。









2.安全上のご注意

警告

 <p>分解禁止</p>	<p>部品を改造したり、部品を変更して製品に取り付けしないでください。 また、取扱説明書に開閉指示のない箇所およびネジなどで固定しているカバー、部品等を取り出さないでください。 火災、感電、故障、けが等の原因になります。</p>	
 <p>電源プラグを抜く</p>	<p>製品から発煙したり、異常な臭い、音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。 そのまま使用を続けたり放置すると、ショートしたり、火災や感電等の原因になります。 弊社サービスセンターへお問い合わせください。</p>	 <p>禁止</p> <p>製品の上に、水の入った花瓶やコップ等を置かないでください。 水がこぼれて製品内部に入ると絶縁が悪くなり、火災、感電、故障等の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>製品の内部や隙間に、クリップやステープラー針等の金属片を落とさないでください。 製品内部の電気回路に接触すると、火災や故障等の原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>家庭用コンセント(AC100V電源)以外のコンセントに、電源プラグを差し込まないでください。 異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発熱、火災、故障等の原因になります。</p>
 <p>強制</p>	<p>電源プラグは、コンセントに完全に差し込んで使用してください。 差し込みが不十分の状態で使用すると、ショートしたり、発熱、火災、感電等の原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないでください。 電源コード、電源プラグ、およびコンセントが傷ついて、火災、感電、故障等の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>電源コードに重いものをのせたり、熱源の近くを通したり、曲げたり、ねじれたままコンセントに差し込まないでください。 電源コードに傷がついて、火災、感電、故障等の原因になります。</p>	 <p>強制</p> <p>電源プラグやコードは、定期的点検してください。 電源プラグがこわれたり、コードが破れたときは使用を中止し、弊社サービスセンターへお問い合わせください。 火災や感電等の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。 火災等の原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>製品、電源プラグおよびコードは、濡れた手で触れないでください。 感電等の原因になります。</p>
 <p>電源プラグを抜く</p>	<p>長期間で使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。 ほこりがたまって、発熱、火災、故障等の原因になります。</p>	 <p>強制</p> <p>製品の内部やケーブル類に、小さなお子様の手が届かないように製品を設置してください。 触ってけがをする恐れがあります。</p>

2.安全上のご注意

⚠ 注意

 禁止	以下のような場所で使用しないでください。 火気の近く、湿気やほこりの多い場所、 振動の激しい場所、平らでない場所、落 下の可能性のある場所、直射日光の当た る場所、冷暖房機の近く、水のかかる場 所、強い磁気や静電気が発生する場所。 火災、感電、故障等の原因になります。	 強制	製品が水没したときは、使用せず弊社 サービスセンターへお問い合わせのうえ 修理、点検を依頼してください。 そのまま使用すると火災、感電、故障等の 原因になります。
 強制	設置、ご使用の際は、製品やプリンターの 操作や開閉が十分可能な空間をお取り ください。 操作中に製品が身体に当たってけがをし たり、製品の破損や故障等の原因になり ます。	 注意	製品に、カウント対象以外のものを のせないでください。 製品に傷が付いたり、破損や故障等 の原因になります。
 注意	製品に貼付されている、ラベルおよび 取扱説明書の指示に従ってください。 誤った操作をして、けがをする恐れが あります。	 注意	製品の取り付けや取り外し、プリンターの開閉 時に、手や指を挟まないように注意してくだ さい。キーボードの操作は指で行ってください。 また、製品に必要以上に強い力を加えないで ください。破損や故障等の原因になります。

■長くご使用いただくために

長くご使用いただくために、次のような場所への設置は避けてください。
また、次の事項は製品の老化を早め、故障や誤動作の原因になります。

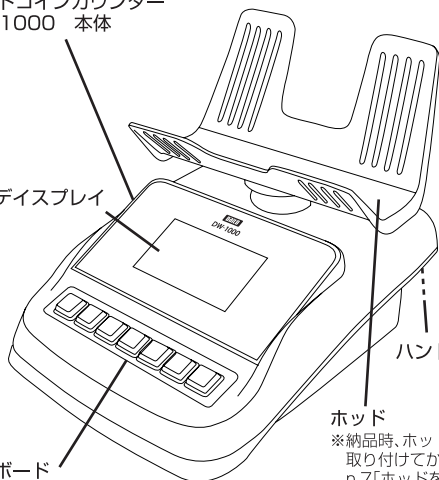
- 屋外でのご使用は避けてください。
- 直接日光のあたる場所は避けてください。
- 温度変化の激しい場所、製品の一部の温度が上昇する場所は避けてください。
- 振動の多い場所、風やほこりのある場所、不安定な場所は避けてください。
- 高温多湿の場所は避けてください。
- 製品に必要以上に強い力を加えないでください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜き、
使用時と同様の環境下に保管してください。

3.内容物及び本体の名称

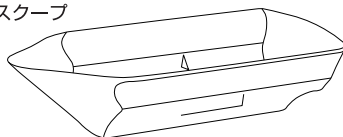
ノートコインカウンター
DW-1000 本体

表示ディスプレイ

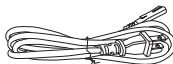
キーボード



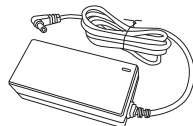
スクープ



AC電源コード



ACアダプター



ハンドル(後部裏側)

ホッド

※納品時、ホッドは本体から外れています。
取り付けてからご使用ください。
p.7「ホッドを取り付ける」をご参照ください。

取扱説明書
(本書)



キーボード	キーの名称	キーの主な役割
	電源キー	電源をON/OFFします。 ON: 軽く押してください。 OFF: 約1秒長押しし「スイッチ ヲ キリマス」と表示後、離してください。 2秒以上押し続けると再度電源が入りますので、ご注意ください。
	セレクトキー	カウントする金種及び券類等を選びます。
	アップ/ダウンキー	カウントする金種及び券類等を選びます。 各種選択時に使用します。
	クリアキー	小計クリア: 約1秒長押ししてください。 総合計クリア: 約2秒長押しし「クリアキー ヲ オシテクダサイ」と表示後、再度押すと、総合計が0になります。 p.11「小計の修正」「総合計金額のクリア」をご参照ください。
	プリントキー	※オプションのDW-1000専用プリンターと接続時のみ使用します。 集計結果をプリントします。 p.21「印刷」をご参照ください。
	トータルキー	約2秒長押しで集計画面が表示されます。 アップ/ダウンキーで、全ての金種の小計と総合計を確認できます。 再度押すとカウント画面に戻ります。 p.11「集計画面の表示」をご参照ください。

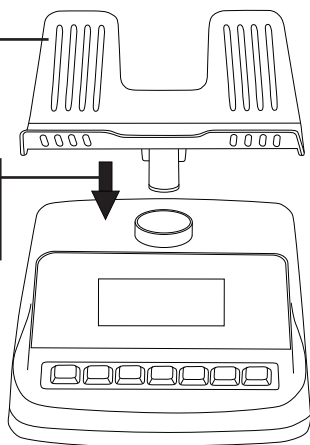
4. セットアップ

4-1. ホッドを取り付ける

DW-1000本体を、振動がなく風やほこりのない、水平で安定した場所に設置してください。
正確にカウントできない、エラーが起きる等の原因となりますので、
下図のとおりホッドはしっかり取り付けてください。

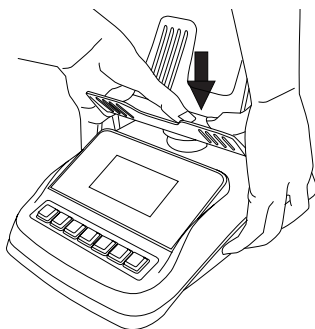
せり上がりの高い方を
奥にしてください。

「カチッ」と音がするまで
しっかり垂直に
押し込んでください。



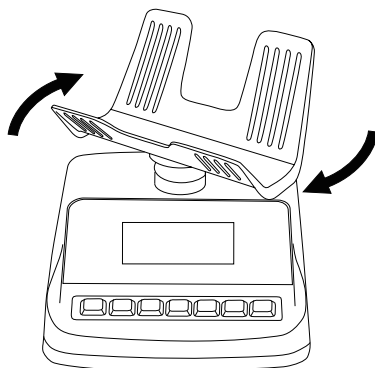
ポイント

下図のように、
両手でホッドと本体をつかむと、
両の親指で押し込みやすくなります。



ホッドの外し方

矢印の方向に30°程
軽く回すと、
「カチッ」と音がして
簡単に外れます。

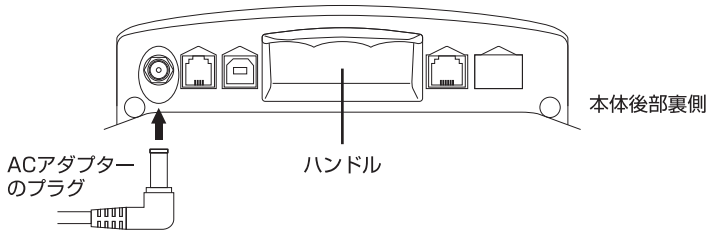


4.セットアップ


4-2.充電

1.AC電源コードとACアダプターをつなぎます。

DW-1000本体後部裏側の一番左のコネクターに、ACアダプターのプラグをしっかりと差し込んでください。



2.AC電源コードのプラグをコンセント(AC100V電源)に差し込んでください。
これでセットアップが完了です。

バッテリー充電が始まり、電源のON/OFFに関わらず電源キー  の右上のLEDが赤に点灯します。満充電になると緑に変わります。AC電源が外れるとLEDは消灯します。
バッテリーは3時間充電で最大10時間使用可能です。

LEDが
赤に点灯
充電中



LEDが
緑に点灯
満充電

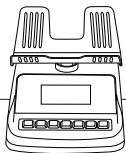


LEDが
消灯
AC電源が
外れている



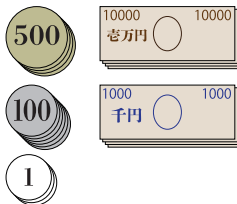
5.カウント前の準備

1.本体を、振動がなく風やほこりがない、水平で安定した場所に設置してください。
本体を移動する際は、後部裏側のハンドルに指を掛けて持ち運んでください。



水平で
安定した
場所

2.カウントする硬貨、紙幣、券類を同種ずつ選別してください。
混合した金種や券類は、正しくカウントできませんのでご注意ください。



3.以下のような紙幣や券類は、事前に取り除いてください。

- ・皺(シワ)がひどいもの、破れがあるもの。
- ・水に濡れたもの。
- ・汚れがひどいもの。
- ・カウント対象外の貨幣

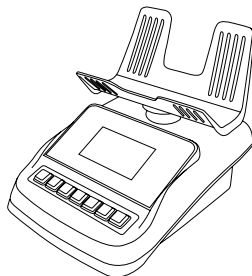
等




6.操作方法

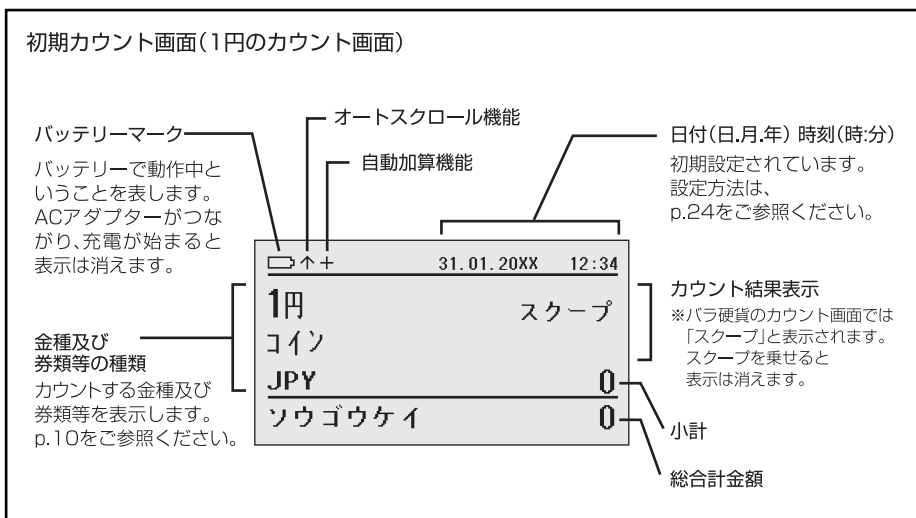
6-1.電源の入切と初期画面

- 1.表示ディスプレイが消えていることを確認してください。(電源「OFF」の状態)
- 2.ホッドに何ものせていないことを確認してください。スcoopはのせないでください。
また、AC電源コードとACアダプターをつないでいる場合は、ホッドにコード等が触れていないことを確認してください。



- 3.電源キー  を軽く押すと電源が「ON」になります。ディスプレイに機種名が表示され、約1秒後以下のような初期カウント画面が表示されます。

初期カウント画面(1円のカウント画面)



バッテリーマーク
バッテリーで動作中ということを表します。ACアダプターがつながら、充電が始まると表示は消えます。

オートスクロール機能

自動加算機能


日付(日.月.年) 時刻(時:分)
初期設定されています。設定方法は、p.24をご参照ください。

カウント結果表示
※バラ硬貨のカウント画面では「スcoop」と表示されます。スcoopを乗せると表示は消えます。

金種及び券類等の種類
カウントする金種及び券類等を表示します。p.10をご参照ください。

小計

総合計金額

- 4.電源キー  を約1秒長押しすると「スイッチ ラ キリマス」と表示後、「OFF」になります。2秒以上押し続けると再度電源が入りますのでご注意ください。

※電源を入れたまま操作をせずに20分経過すると、「スイッチ ラ キリマス」と表示後、自動で電源が「OFF」になります。(自動電源OFF機能)

6.操作方法

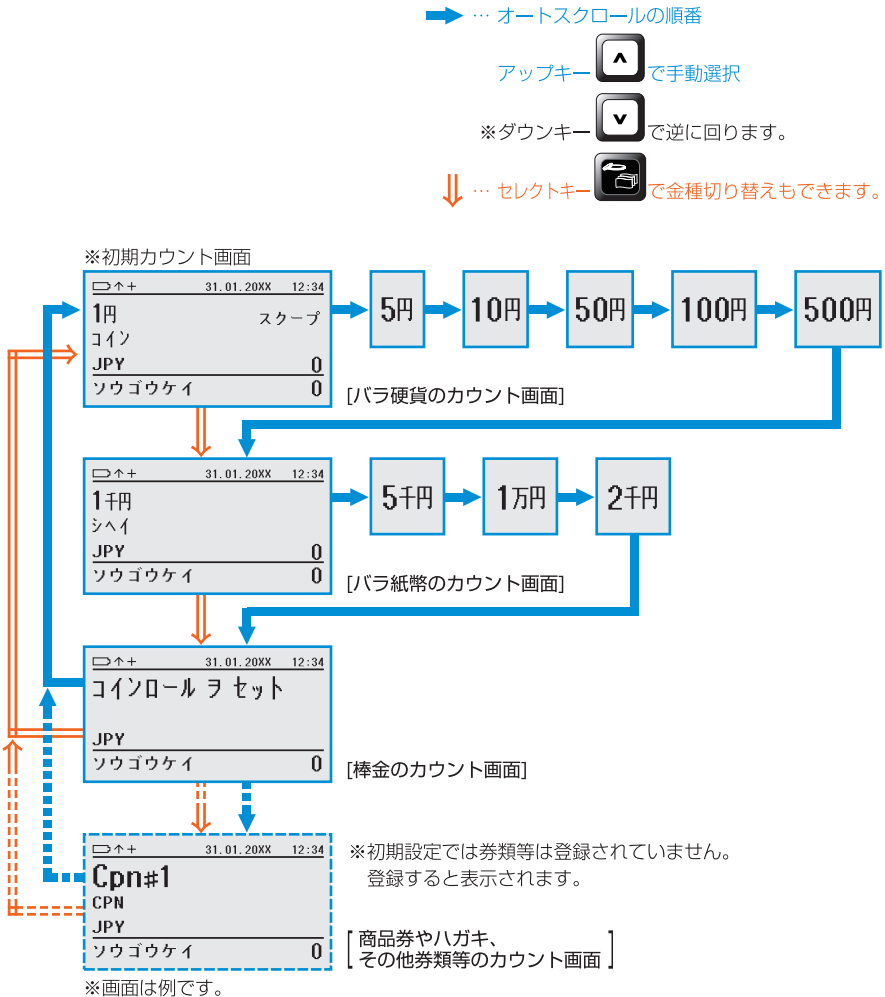
6-2.オートスクロール機能

カウント対象物が全て降ろされホッドが空になると、金種及び券類等のカウント画面が自動で切り替わります。

また、セレクトキーやアップ/ダウンキー    で、カウントしたい金種及び券類等を
手動で選択することも可能です。




画面の切り替わる順番は以下の図の通りです。


カウント画面の切り替わる順番



6.操作方法

6-3.小計の修正


1.セレクトキーやアップ/ダウンキー    で修正したい金種及び券類等を選択します。

2.クリアキー  を約1秒長押しすると、その画面の金種及び券類等の小計が0になります。自動で総合計も再計算されます。


3.再度カウントしなおしてください。


☐ ↑ +	31.01.20XX	12:34
1円		スクープ
コイン		
JPY		0
ソウゴウケイ		0
	小計	総合計金額


6-4.総合計金額のクリア

クリアキー  を約2秒長押しすると、「クリアキー ヲ オシテ クダサイ」と表示され、もう一度押すと総合計が0になります。

6-5.集計画面の表示

トータルキー  を約2秒長押しすると、10,000円から100円までの各金種の枚数と小計金額が表示されます。(図1)



その後ダウンキー  を押すと、50円から1円までの各金種の枚数と小計金額、及び総枚数と総合計金額が表示されます。(図2)

アップキー  で(図1)の画面に戻れます。

トータルキー  を押すとカウント画面に戻ります。

(図1)

10,000円 ×	0	0円
5,000円 ×	0	0円
2,000円 ×	0	0円
1,000円 ×	0	0円
500円 ×	0	0円
100円 ×	0	0円

ダウンキー  ↓ ↑  アップキー

(図2)

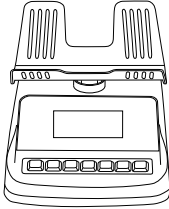
50円 ×	0	0円
10円 ×	0	0円
5円 ×	0	0円
1円 ×	0	0円
合計	0枚	0円

※集計画面の表示中は
カウントをクリアにできません。
※集計画面の表示中は
印刷できません。

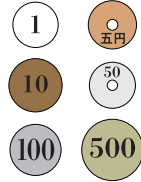
7.カウント方法




7-1.バラ硬貨のカウント方法

1. ホッドに何ものせていないことを確認してください。
スクープはのせないでください。



カウント対象：
日本の硬貨6種バラ
※記念硬貨を除く



2. セレクトキーやアップ/ダウンキー    で
カウントする金種を選択します。
(p.10ご参照)

※例：10円カウントの場合

☐↑+	31. 01. 20XX	12:34
10円		スクープ
コイン		
JPY		0
ソウゴウケイ		0

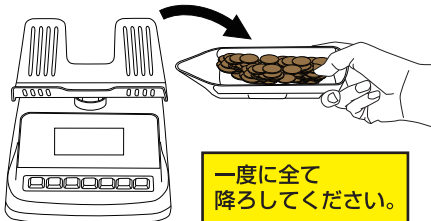
3. 硬貨をのせたスクープをホッドにのせます。「スクープ」表示が消えます。
表示ディスプレイに枚数と小計が表示され、自動で総合計も計算されます。



☐↑+	31. 01. 20XX	12:34
10円		×137
コイン		
JPY		1370
ソウゴウケイ		1370



4. 硬貨をのせたスクープを降ろしホッドが空になると、カウントが完了します。
自動で次の金種のカウント画面に切り替わります。

※例：10円の次は50円に切り替わります。



一度に全て
降ろしてください。

☐↑+	31. 01. 20XX	12:34
50円		スクープ
コイン		
JPY		0
ソウゴウケイ		1370

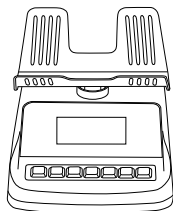
修正する場合は、ダウンキー  でカウント画面を戻し、クリアキー  を約1秒長押しして小計を0にし、再度カウントしてください。

7.カウント方法

7-2.バラ紙幣のカウント方法

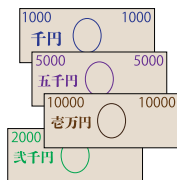
1. ホッドに何もせていないことを確認してください。

※紙幣のカウントではスクープは使用しません。



2. セレクトキーやアップ/ダウンキーで
カウントする金種を選択します。
(p.10ご参照)

カウント対象：
日本銀行券4種バラ



※例：1万円カウントの場合

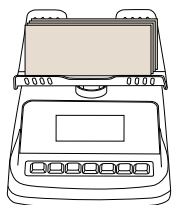
☐ ↑ +	31. 01. 20XX	12:34
1万円		
シハイ		
JPY		0
ソウゴウケイ		0

3. 紙幣をホッドにのせます。

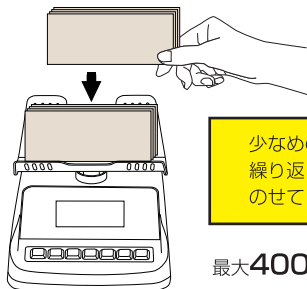
一度に30枚程度を目安にのせていくと、最大400枚までのせられます。

「オオスギマス ヘラシテクダサイ」と表示された場合、ホッドにのせた紙幣を減らしてください。

メッセージが消えたら、再度少なめの枚数を繰り返しのせてください。



一度にのせる枚数は
30枚程度で。

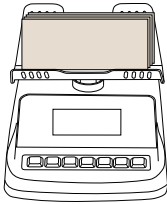


少なめの枚数を
繰り返し
のせてください。

最大**400枚**までのります。

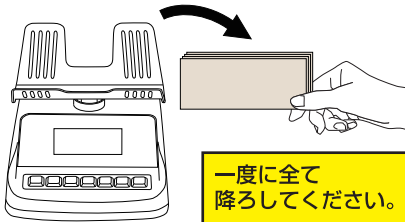
7. カウント方法

4. 表示ディスプレイに枚数と小計が表示され、自動で総合計も計算されます。





☞ ↑ +	31. 01. 20XX	12:34
1万円		×75
シハイ		
JPY		750000
ソウゴウケイ		750000

5. 全ての紙幣を一度に降ろしホッドが空になると、カウントが完了します。
自動で次の金種のカウント画面に切り替わります。



※例: 1万円の次は2千円に切り替わります。

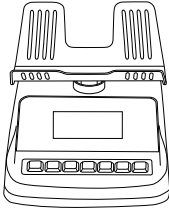
☞ ↑ +	31. 01. 20XX	12:34
2千円		
シハイ		
JPY		0
ソウゴウケイ		750000

修正する場合は、ダウンキー  でカウント画面を戻し、クリアキー  を約1秒長押しして小計を0にし、再度カウントしてください。

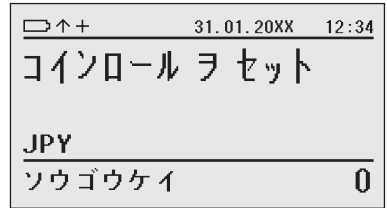
7.カウント方法

7-3.棒金のカウント方法

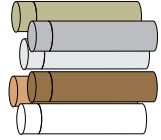
1. ホッドに何ものせていないことを確認してください。
※棒金のカウントではスcoopは使用しません。



2. セレクトキーやアップ/ダウンキーで「コインロール ヨ セット」を選択します。
(p.10ご参照)



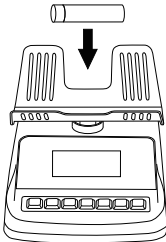
カウント対象：
日本の硬貨6種の棒金



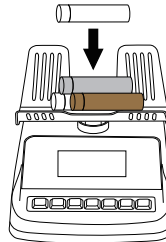
一種50枚セットで、
紙またはフィルム包装のもの
※500円硬貨のみ
20枚セットもカウント可

3. 金種を自動で検知しますので、カウントする順番は任意です。

棒金を1本ずつホッドにのせてください。2本以上同時にのせるとエラーとなり、「バッグ/ロール ニ マチガイ ガアリマス」と表示されます。(★)

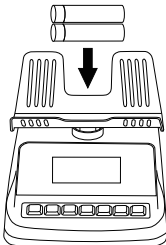


1本ずつ
のせてください。



金種の異なる
棒金もカウント
できます。

最大 **1.5kg**(※)
までのります。
(※)
例: 100円棒金6本分



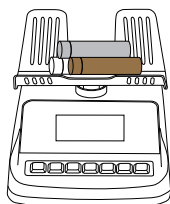
2本以上同時に
のせないでください。

(★)

バッグ/ロール
ニ マチガイ ガアリマス

7.カウント方法

4.表示ディスプレイに金種、枚数、小計が表示され、自動で総合計も計算されます。






※例：1円棒金、10円棒金、
100円棒金の順に
のせた場合

☰ ↑ +	31.01.20XX	12:34
100円	×	50
JPY		5000
ソウゴウケイ		5550

5.全ての棒金を一度に降ろしホッドが空になると、カウントが完了します。
自動で次(*)に切り替わります。

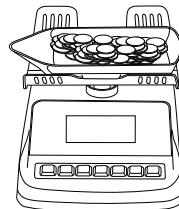
(※)初期設定では、1円のカウント画面に切り替わります。
商品券やハガキ、その他券類等を登録した場合は、「Cpn#(任意の番号)」や「ハガキ」のカウント画面に切り替わります。
商品券やハガキ、その他券類等の登録方法はp.17をご参照ください。

棒金の計測結果は、それぞれの金種の小計に集計されます。

修正する場合は、セレクトキーやアップ/ダウンキー    で修正する金種のカウント画面を選択し、クリアキー  を約1秒長押しして小計を0にし、再度カウントしてください。
バラ硬貨で計測した結果も0になりますので、ご注意ください。

(★)このエラーメッセージが、特定の棒金で繰り返し表示される場合は、その棒金はバラし、バラ硬貨としてカウントしてください。

バッグ/ロール
= マチガイ ガアリマス



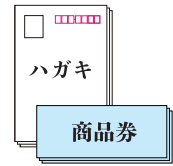
バラ硬貨のカウント方法は
p.12をご参照ください。

7.カウント方法

7-4.商品券やハガキ、その他券類等の登録・カウント方法

- ・20種類の券類等と、1種類のハガキの登録ができます。
- ・登録時に同一券を100枚ご用意ください。
- ・1枚の重さが約1～4gで、ホッドにのる大きさの券類等を、登録・カウントできます。

登録・カウント対象：
1枚の重さが約1～4gで、
ホッドにのる大きさのもの



同一券100枚必要

7-4-1.券類等の重さを登録する

- 1.電源は「OFF」の状態、ホッドに何ものせていないことを確認してください。
※商品券やハガキ、その他券類等の登録・カウントではスクープは使用しません。

- 2.電源キー  とセレクトキー  を同時に押し、
電源が入ったら電源キー  は離し、セレクトキー  のみ押し続けます。
「Enter Switches」と表示されたら離してください。

Enter Switches

[+]

- 3.アップキー  を5回押しすと
「Scroll Detail」と表示されます。


Scroll Detail

[+]

- 4.クリアキー  を押しすと
「1円 Coins [+] Auto scroll」と表示されます。


1円 Coins

[+] Auto scroll

- 5.アップキー  を8回押しすと
「Cpn#20 Coupons [+] Disabled」と表示されます。

Cpn#20 Coupons

[+] Disabled

さらにアップキー  を押し度、「Cpn#20」から「Cpn#1」まで切り替わり、合計20種類の券類等を登録できることがわかります。任意でお選びください。


- ※以下、例として「Cpn#1」に新規登録するとします。
「Cpn#1 Coupons [+] Disabled」を表示させます。

※例

Cpn#1 Coupons

[+] Disabled

7.カウント方法

- 6.クリアキー  を2回押し、
「Cpn#1 Coupons [+] Auto scroll」と切り替えます。
これで「Cpn#1」がカウント対象になります。

Cpn#1 Coupons
[+] **Auto scroll**

- 7.セレクトキー  を押すと前の表示、
「Scroll Detail」に戻ります。

Scroll Detail
[+]

- 8.アップキー  を10回押しすと
「オモサ トウロク」と表示されます。


オモサ トウロク
[+]

- 9.クリアキー  を押すと
「Calibrate Cup」と表示されます。

Calibrate cup
[+]

- 10.アップキー  を4回押しすと
「クーポン トウロク」と表示されます。

クーポン トウロク
[+]

- 11.クリアキー  を押すと「Cpn#1 ヲ 100 マイ
ノセテ クダサイ」と表示されますので、登録する券類等
を100枚一度にホッドへのせてください。

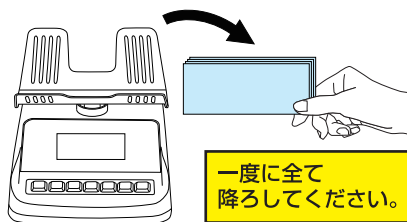
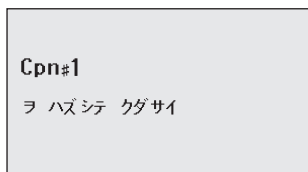
Cpn#1
ヲ 100 マイ ノセテ クダサイ




100枚一度に
のせてください。

7.カウント方法

- 12.ピツと音がした後「Cpn#1 ヲ ハズシテ クダサイ」と表示されたら、券類等を一度にホッドから降ろしてください。



- 13.電源キー  を約1秒長押しして、電源を「OFF」にします。これで「Cpn#1」に重さが登録されました。

※「ハガキ」を登録する場合

- 1.～4.まで同じ手順で操作してください。

- 5.アップキー  を7回押しして「ハガキ Coupons [+] Disabled」と表示させてください。

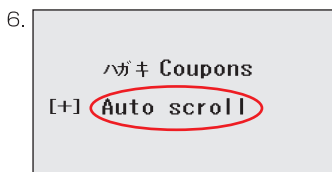
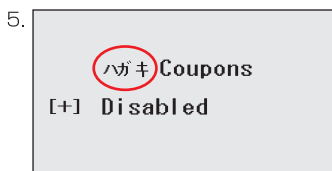
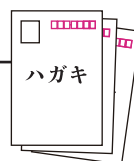
- 6.クリアキー  を2回押し、「ハガキ Coupons [+] Auto scroll」と切り替えます。これで「ハガキ」がカウント対象になります。

- 7.～10.まで同じ手順で操作してください。

- 11.「ハガキ ヲ 100 マイ ノセテ クダサイ」と表示されたら、登録するハガキを100枚一度にホッドへのせてください。

- 12.～13.まで同じ手順で操作し、登録できます。

- 異なる種類のハガキを登録する場合は、5.で「Cpn#(任意の番号)」を選び、同様に登録してください。



※券類等やハガキを複数登録した場合は、どの「Cpn#(任意の番号)」や「ハガキ Coupons」を使用したかを忘れないよう、ご自身でメモを残す等ご留意ください。

7.カウント方法

7-4-2.登録した券類等をカウントする

※例として「Cpn#1」に重さ登録済みとします。

1. ホッドに何ものせていないことを確認し、電源キーを軽く押して「ON」にしてください。

※商品券やハガキ、その他券類等の登録・カウントではスクープは使用しません。

2. セレクトキーやアップ/ダウンキーで「Cpn#1」を表示します。

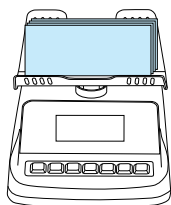
← ↑ +	31. 01. 20XX	12:34
Cpn#1		
CPN		
JPY		
ソウゴウケイ		0

3. 券類等をホッドにのせます。

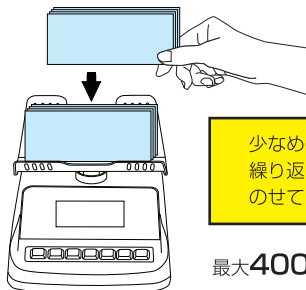
一度に20枚程度を目安にのせていくと、最大400枚までのせられます。

「オオスギマス ヘラシテクダサイ」と表示された場合、ホッドにのせた券類等を減らしてください。

メッセージが消えたら少なめの枚数を繰り返しのせてください。枚数が表示されます。



一度にのせる枚数は
20枚程度で。



少なめの枚数を
繰り返し
のせてください。




最大**400枚**までのります。

4. 全ての券類等を一度に降ろしホッドが空になると、カウントが完了します。

自動で次(※)に切り替わります。

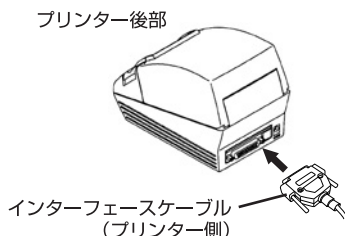
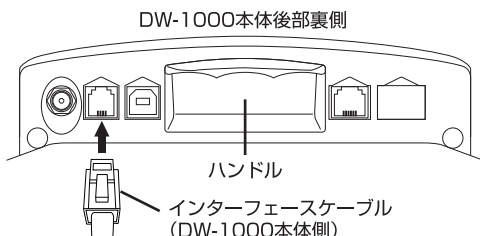
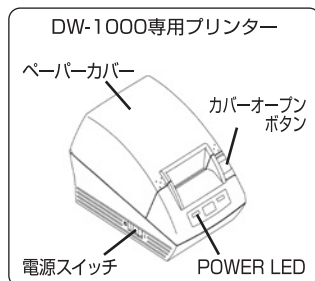
(※) 登録が1つの場合は、1円のカウント画面に切り替わります。

複数登録した場合は、「Cpn#1」、「Cpn#2」、…その後「ハガキ」の順に切り替わります。

修正する場合は、アップ/ダウンキーでカウント画面を戻し、クリアキーを約1秒長押しして小計を0にし、再度カウントしてください。


8-1.プリンターのセットアップ

- 1.DW-1000本体の電源およびプリンターの電源スイッチが、「OFF」になっていることを確認してください。
- 2.プリンターにロール紙をセットします。
プリンター正面右にあるカバーオープンボタンを押して、ペーパーカバーを開きます。印字面が下になるようにロール紙を入れ、数cm引き出してください。ペーパーカバーを、「カチッ」と音がするまでしっかり閉めてください。詳しくは、プリンターに同梱の「クイックスタートガイド」をご参照ください。
- 3.DW-1000本体とプリンターを、プリンターに同梱のインターフェースケーブルで接続してください。



- 4.プリンターのAC電源コードとACアダプターを接続し、プリンター本体とつないでください。
AC電源コードのプラグをコンセント(AC100V電源)に差し込んでください。
これでプリンターのセットアップが完了です。

8-2.印刷方法

- 1.プリンターの電源スイッチを「ON」にします。
POWER LEDが点灯します。
- 2.DW-1000本体の電源を「ON」にし、カウントしてください。
- 3.プリントキー  を押すと表示ディスプレイに「プリント チュウ…」と表示され、集計結果が印刷されます。

DW-1000ディスプレイに、集計画面(p.11ご参照)が表示されている間はプリントできません。

トータルキー  を押して、任意のカウント画面に戻してください。

※ プリンターが接続していない場合やプリンターの電源が「OFF」の場合は、「プリント チュウ…」と表示後「ソウシシ ッパイ」と表示され、エラーとなります。

※ カウントが0のときは、プリントされません。

※ その他プリンターに関する内容は、プリンターに同梱の「クイックスタートガイド」をご参照ください。

※印刷例

Date: 31.01.20XX	Time: 12:34	日付・時刻	
Daito DW-1000 JPY			

JPY 1	(95)	95	硬貨の カウント 結果
JPY 5	(25)	125	
JPY 10	(21)	210	
JPY 50	(24)	1200	
JPY 100	(20)	2000	
JPY 500	(14)	7000	
Coins		10630	

JPY 1000	(42)	42000	紙幣の カウント 結果
JPY 5000	(15)	80000	
JPY 10000	(2)	20000	
JPY 2000	(2)	4000	
Notes		146000	

Cpn#1		4	券類等の カウント 結果
Cpn#2		4	
Post card		4	
JPY Total		156630	総合計金額

Cashier.....			
Manager.....			

9.トラブルシューティング

エラーメッセージ	原因と対処方法
<p>オモサ ガ カルスギマス</p>	<p>ホッドを取り付けずに電源を「ON」にした、もしくはホッドを正しく取り付けできていない可能性があります。 電源を「OFF」にし、p.7「ホッドを取り付ける」をご参照のうえ正しく取り付けてください。</p>
<p>デンゲン キー ヲ オシテクダサイ</p>	<p>バラ硬貨カウント画面で、登録しているスcoopより軽いものをホッドにのせたときや、スcoopをのせずに少量の硬貨をのせたときに表示されます。また、振動等で内部の重量計にエラーが起きたときに表示されます。 ホッドにのっているものを全て降ろし、電源キーを押してください。 スcoopに問題がある場合、p.24「スcoopの重さ登録」をご参照のうえ登録しなおしてください。</p>
<p>ホッド ヲ カラニ シテクダサイ</p>	<p>カウント画面を切り替えるとき、ホッドにものをのせていると表示されます。 ホッドにのせたものを全て降ろしてください。 本製品は、ホッドが空になるとカウントが完了します。</p>
<p>カップ/スcoop ニ マチガイ ガ アリマス</p>	<p>登録しているスcoopとは異なるものをのせた、もしくはスcoopの重さが変わった可能性があります。 正しいスcoopをのせるか、p.24「スcoopの重さ登録」をご参照のうえ登録しなおしてください。</p>
<p>マワリ ノ シンドウ ガ ツヨスギマス</p>	<p>本体を、振動がなく風やほこりのない、水平で安定した場所に設置してください。</p>
<p>スコシ ヘラシテ クダサイ</p>	<p>最大積載量以上をホッドにのせた可能性があります。 エラーメッセージが消えるまで、ホッドにのせているものを減らしてください。</p>
<p>オオスギマス ヘラシテ クダサイ</p>	<p>バラ紙幣や券類等のカウント時に表示されることがあります。 ホッドの紙幣や券類等を減らし、少しずつのせてカウントしてください。 バラ紙幣や券類等のカウント中スcoopをのせた場合は、スcoopを降ろしてください。バラ紙幣や券類等のカウントではスcoopは使用しません。</p>
<p>バッグ/ロール ニ マチガイ ガアリマス</p>	<p>棒金カウント中、2本以上同時にのせると表示されます。 1本ずつのせてカウントしてください。 また、特定の棒金で繰り返し表示される場合は、その棒金はバラし、バラ硬貨としてカウントしてください。 p.12「バラ硬貨のカウント方法」をご参照ください。</p>

9.トラブルシューティング

エラーメッセージ	原因と対処方法
デンチギレ ニ ナリマス ジュウデン シテクダサイ	充電が必要です。 AC電源コードとACアダプターを接続してください。 充電が始まると電源キーの右上のLEDが赤に点灯します。 p.8「充電」をご参照ください。
ソウシン シッパイ	DW-1000本体と、オプションの専用プリンターが接続されていないか正しく接続できていない、もしくはプリンターの電源が「OFF」の可能性があります。 p.21「プリンターのセットアップ」をご参照ください。

■「故障かな?」と思う前に…

以下のチェック項目をご確認ください。

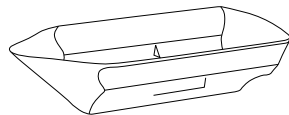
- 充電切れではありませんか?
→ 本体に、AC電源コードとACアダプターを正しく接続し、コンセント(AC100V電源)に差し込んでください。p.8「充電」、p.9「電源の入切と初期画面」をご参照ください。
- ホッドにケーブルがさわっていませんか?
→ ケーブルをはなしてください。
- ホッドにスクープをのせたまま、電源を入れていませんか?
→ 電源を切り、ホッドに何ものせずに電源を入れなおしてください。
- エアコンの風が当たっていませんか?
→ 風の当たらない場所へ、本体を移動してください。
- 不安定な場所に設置していませんか?
→ 水平で安定した場所へ、本体を移動してください。
- 異なる金種が混ざってカウントしていませんか?
→ 金種を選別してカウントしてください。
- カウント時、数回に分けてホッドから降ろしていませんか?
→ ホッドにのせたカウント対象は、一度に降ろしてください。
- 電源を入れなおして、はじめからカウントしてください。

上記方法で解決しない場合や、上記以外のトラブルが発生した場合は、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

10.メンテナンス

10-1.スcoopの重さ登録方法

スcoopのエラーが起きたり、重さが変わった場合や、他の容器をスcoopとして使用する場合は、スcoopの重さを登録してください。



1.ホッドに何ものせていないことを確認し、電源キー  を軽く押して電源を「ON」にしてください。

2.電源キー  とトータルキー  を同時に押してください。
「カラ ノ スcoop ヲ ホッド ニ ノセテ クダサイ」と表示されます。
スcoop、もしくはスcoopとして登録したい容器をホッドにのせてください。


3.「スcoop ヲ ハズシテ クダサイ」と表示されたら、ホッドから降ろしてください。
これでスcoopの登録が完了です。

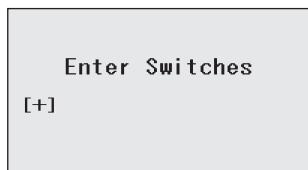
10-2.日付・時刻の設定方法

1.電源は「OFF」の状態、ホッドに何ものせていないことを確認してください。

2.電源キー  とセレクトキー  を同時に押し、

電源が入ったら電源キー  は離し、

セレクトキー  のみ押し続けます。
「Enter Switches」と表示されたら離してください。





3.アップキー  を7回押すと
「Set Date」と表示されます。

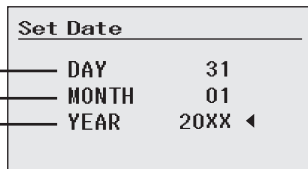


4.クリアキー  を押すと、
日付(日.月.年)の設定画面が表示されます。

アップ/ダウンキー   を押すと
◀カーソルが移動し、

クリアキー  を押すと数値が変わります。

セレクトキー  を押すと日付の設定が完了し、
「Set Date」画面に戻ります。

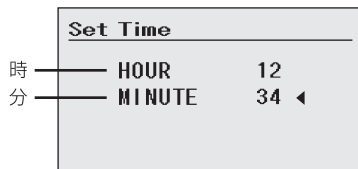



10.メンテナンス


5. アップキー  を1回押すと「Set Time」と表示されます。




6. クリアキー  を押すと、時刻(時分)の設定画面が表示されます。
- アップ/ダウンキー   を押すと
◀カーソルが移動し、



- クリアキー  を押すと数値が変わります。

- セレクトキー  を押すと時刻の設定が完了し、「Set Time」画面に戻ります。



7. 電源キー  を約1秒長押しして、電源を「OFF」にします。
日付・時刻の設定が完了しました。

この度は、株式会社ダイト製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

取扱説明書に従って正しくご使用ください。

この製品保証書は、株式会社ダイト(以下当社という)が以下に定める製品保証規定に基づき、製品の無償修理を行うことをお約束するものです。

製品名・型式： ノートコインカウンター DW-1000

保証期間： お買い上げ日より1年間

ご購入日： _____年 _____月 _____日

修理連絡先： お買い上げ店にご連絡ください。

販売店名： _____

製品保証規定

●当製品の保証は、製品保証書の保証期間に取扱説明書に従って正常な使用をしていたにも関わらず、故障が発生した場合に無償修理を約束するものです。

●保証期間内の無償修理は、故障製品の代替品を当社からお客様に送付し、故障製品を当社宛に返送していただくことを指します。修理が完了しましたら、再度当社から修理完了品をお客様に送付いたします。また、その際の送料は、全て当社負担とさせていただきます。

●保証期間内であっても以下の項目に該当する場合は、保証の対象外とさせていただきます。

1. 使用上の誤り、又は不当な修理や改造によって生じた故障、損傷
2. 輸送、移動、落下等によって生じた故障、損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、静電気、異常電圧等の外部要因によって生じた故障、損傷
4. 浸水、泥、埃、その他異物の混入による故障、損傷
5. 車両、船舶等に搭載されたことによって生じた故障、損傷
6. 消耗部品
7. 製品保証書の字句を不当に書き換えられた場合
8. 本製品の使用によるその他の製品の損害
9. その他合理的事由により、当社が保証対象外と判断した場合

●製品保証書は、日本国内のみで有効です。

12.仕様

型 式	DW-1000
カウント対象	・日本の硬貨6種バラ ・日本銀行券4種バラ ・日本の硬貨6種の棒金 ・商品券やハガキ、その他券類等
カウントの限界値	最大積載量：硬貨…1.5kg 紙幣…400枚 券類…400g 金額：999万9999円まで（硬貨・紙幣に関わらず）
主な機能	・オートスクロール機能 ・自動加算機能 ・自動電源OFF機能（20分無操作時）
内蔵バッテリー	リチウムポリマーバッテリー 7.4V 1250mAh 最大10時間連続使用可能（3時間充電）
外形寸法	162(W)×224(D)×172(H)mm（ホッドを含む・コード含まず）
重 量	1.0kg（ホッドを含む・コード含まず）
電源電圧	DC12V
ACアダプター	定格入力：AC100V 50/60Hz 定格出力：DC12V 2.5A
消費電力	動作時5.6W

※本製品は改良のため断りなく外観、仕様を変更することがあります。

製品に関するお問い合わせは下記までお願い致します。



株式会社 **ダイト**

URL: <http://www.daito-inc.co.jp>